

全社で推進する環境マネジメント経営

当社は、平成16年、鉄道会社初の会社全体でのISO14001の認証取得を達成し、会社全体で環境活動を推進しています。

車両課

環境マネジメントを前進させるために

車両部門は分別廃棄や資源の再利用・再資源化、使用量の削減に積極的に取り組んできましたが、現在は、それに加える新しい活動を模索しています。また、環境マネジメントシステムを合理的に向上させていくことを常に意識して活動に取り組んでいます。個人的な活動としては、近隣地区で、資源のリユース・リサイクルや環境美化に参加していますが、会社での取り組みの影響かもしれませんね。



山根 由紀夫
【鉄道事業部 車両課 車両担当】

電気課

少しでも環境負荷を小さく

廃棄物削減に向けた取り組みの一つとして、従来よりも乾電池の使用量が少ない計器を導入しました。また、事務的な業務連絡はできるだけメールを使用してペーパーレス化に努めるなど、小さな事ながら、少しでも環境負荷の低減を目指しています。



今道 浩司
【鉄道事業部 電気課 大阪電力係】

保線課

年間計画を立ててISO教育を実施

保線課においては、当社環境マネジメントプログラムに基づいた年間計画を立案して年3回のISO教育を実施し、社員への環境意識の向上、知識の浸透を徹底しています。また、レール継目を削減することで、騒音振動を低減する取り組みも行っています。



板井 克徳
【鉄道事業部 保線課 技術係】

運転課

エコ運転を目指して

鉄道電力削減のために、効率的で乗り心地のよい運転操法をまとめた手順書を作成しています。また、1日ごとの使用電力量を職場に掲出し、電力削減に対する意識向上を図っています。



篠原 正幸
【鉄道事業部 運転課 京都列車区】

京阪ステーションマネジメント

駅の美化活動

「改札は駅の玄関」という意識を持ち、付近のゴミ拾いをはじめ、券売機をきれいにふいたりして駅を気持ちよくご利用いただけるよう気を配っています。また、駅事務所ではペットボトルと缶の回収箱を設置していますが、スタッフに声をかけて積極的に分別に取り組んでいます。



坂井 千恵美
【枚方エリア コンシェルジュ】

大津鉄道事業部

美しい琵琶湖のために

琵琶湖の水質保全を広く社会に発信するため、「マザーレイク号」を運転しています。「マザーレイク号」とは、平成12年4月に大津市で開催された「G8環境大臣会合」を記念して、「自然と環境」をテーマに市内在住の方がデザインした特別塗装電車です。これからも琵琶湖の環境保全活動に協力していきたいですね。



草川 宜郎
【大津鉄道事業部 運輸課 運輸係】

賃貸経営部

小さな活動が大きな結果に

不動産賃貸事業では、当社の賃貸ビル・商業施設などに対して省エネルギー機器の導入を推進しています。例えば、KUZUHA MALLでの太陽光発電や氷蓄熱空調の設置、レンタル収納スペース施設周辺の緑化などです。環境活動を通じて、目標・目的を定めて進めることの大切さや、日々の小さな積み重ねが大きな結果につながることを実感しています。



山本 哲也
【賃貸経営部】

ひらかたパーク

生ゴミで花を咲かせる「美化」に挑戦

ひらかたパーク園内のレストランから出る生ゴミを、生ゴミ処理機を使って堆肥化することに取り組んでいます。現在、肥料としてリサイクルできるよう勉強中です。その肥料を使って、来年には、園内の植物をきれいに咲かせたいですね。



井上 貴世子
【営業チーム 園芸担当】

京阪グループのCSR

安全への取り組み

お客さま満足のために

株主・投資家のために

従業員のために

地域社会のために

環境への取り組み